

軟化点測定器



RKA 5

最高レベルの軟化点試験器

環球式軟化点試験器RKA 5は、物質が特定の柔らかさに達する温度(軟化点)を自動測定します。明確に定義される融点がなく温度の上昇と共に軟化し粘度が減少するサンプルに使用されます。

ユーザーの要件に合わせて柔軟なカスタマイズが可能

- 軟化点が80 °Cを超えるサンプルの場合は、自動電磁ボールディスペンサー機構(オプション)を推奨します。このオプションは、標準の試験ラック及びセンタリングガイドと2個の電磁ホルダーを組み合わせた構成で、試験開始15分後にボールを自動的に送出します。

安全な加熱システム:

- 加熱システムは防滴構造で密閉されているため、安全に操作でき清掃が簡単
- 赤外線ラジエータ技術
- ROBAX® ガラスプレート
- ビーカーを正確に中央にセットするための位置マークが付いた加熱プレート
- ガラス製の保護ドア

測定結果を一括表示

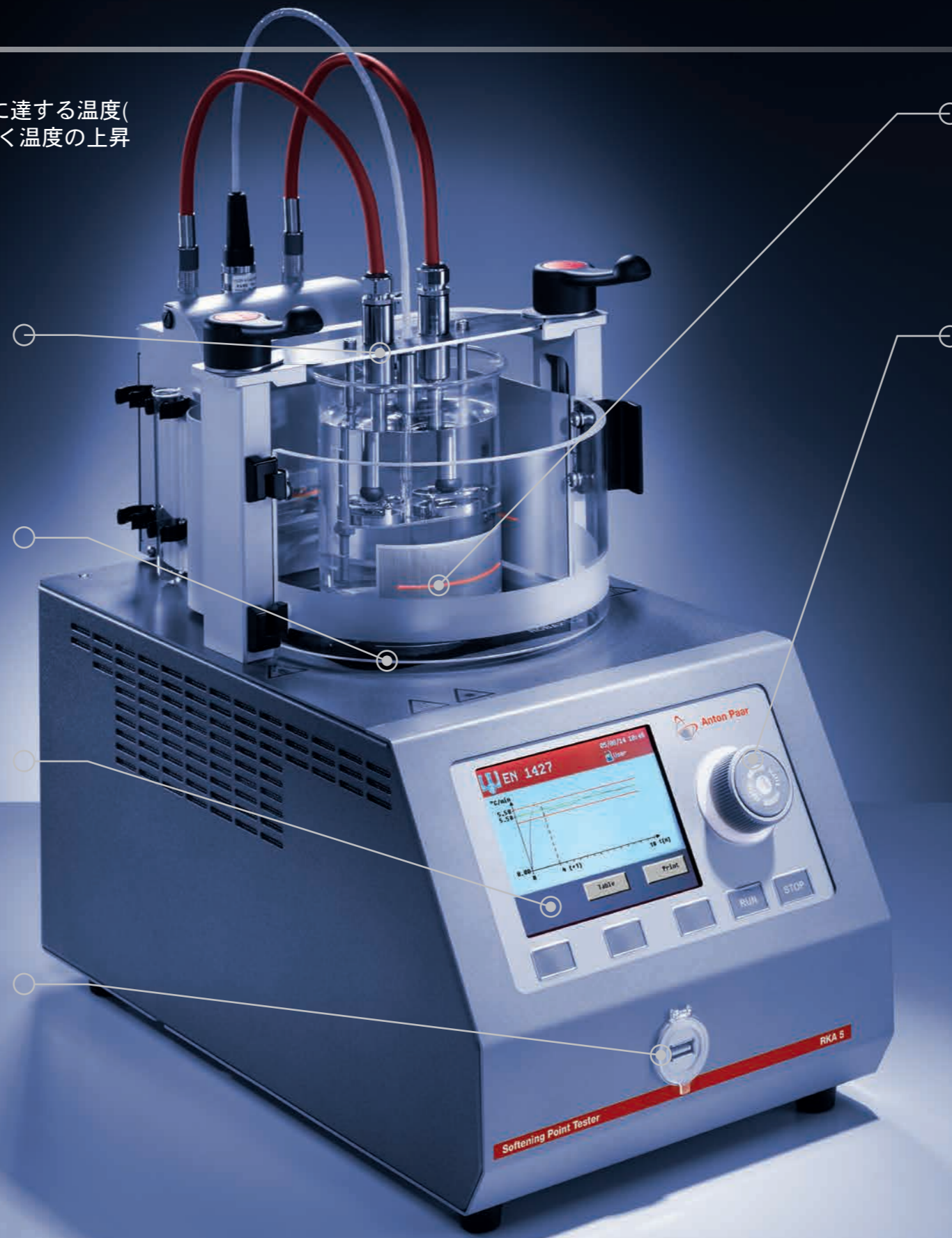
- 試験ごとの昇温率のグラフにより、試験規格への適合確認が可能
- アイコンによる簡潔でグラフィカルな操作ガイド
- 統計計算機能
- 内蔵メモリで測定結果を無制限に保存
- 2個のボールを用いた自動偏差評価

拡張データベース機能

- USBスティックからのダウンロードによるデバイスおよびデータの管理
- LAN通信、LIMS互換機能あり
- キーボード及びプリンタ用通信インターフェース

便利なアクセサリ (オプション)

- 自動電磁式ボールディスペンサー (オプション)
- バーコードリーダーによるサンプル識別
- プリンターおよびキーボード



信頼性の高い動作

- レーザースキャナーシステムはビーカーの断面全体をスキャンします。これにより、非常に高い信頼性で球の落下を検出できます。
- 気泡の誤検出に対する防止機能
- 温度センサの多点校正

優れた操作性

- 革新的な操作方法であるスマートジョグホイール操作システム(回転と押下)及びPmove®の採用により、事前設定の標準プログラムからの選択、または20個のユーザー定義設定からの選択が簡単にできます。

用途

RKA 5は様々なボールセンタリング機構及びディスペンサー機構を備え、ビチューメンの測定に使用されます。

- ビチューメンの分類基準として
- 供給元からの均一な出荷を確立するために
- 昇温下で流動化させた材料特性の傾向チェックのため
- 安定した品質を保証するため
- 保障要求やクレーム処理のリスクを減らすため

標準メソッド

ASTM D36, EN 1427, JIS K 2207, AASHTO T53, IP 58

技術仕様

Configuration	RKA 5には試験ラック、ボールの手動センタリング機構、ディスペンサー機構が付属
適用範囲	160 °Cまで
同時処理検体数	2
加熱速度	赤外線照射、ROBAX®加熱プレート、防滴
攪拌	100~150 rpm (プログラムによって異なる)
ディスプレイ	5.0インチカラーディスプレイ、グラフィカルなメニュー案内
試験後の冷却	強力なファン
温度プローブ	Pt100 (4線式、金接点)
インターフェース	RS232、USB x 3、LAN、LIMS互換
電源	115/230 V、50/60 Hz、1.2 kW
寸法	230 mm x 410 mm x 520 mm (幅 x 奥行 x 高さ)
重量	約12 kg
分解能	0.1 °C

RKA 5 (自動ボールリリースオプション)



Anton Paar

株式会社アントンパール・ジャパン
〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9
リバーサイド隅田13階
Tel: 03-4563-2500 | Fax: 03-4563-2501

〒562-0035 大阪府箕面市船場東3-4-17
箕面千里ビル8階
Tel: 050-4560-2100 | Fax: 050-4560-2101

info.jp@anton-paar.com
www.anton-paar.com